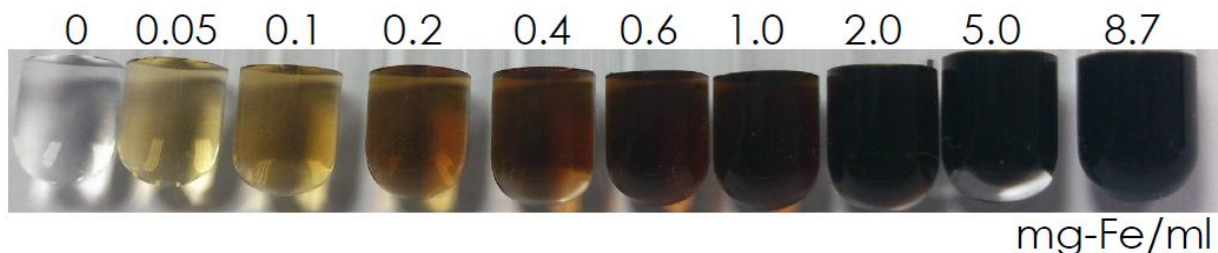
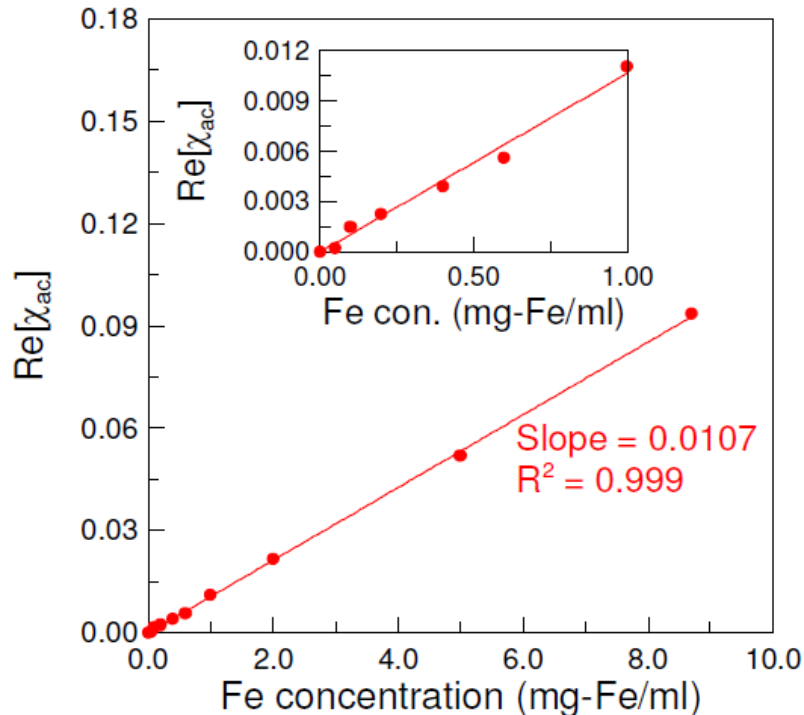


Fe濃度高速測定器 for Micro/Nano 磁気ビーズ Magou

従来より、研究者による材料の磁気濃度の測定には、VSM・ICP及びSQUIDタイプが使用されています。これら装置は革新的な磁性特性を見出すため、低温又は超高磁場特性の分析には有利だと言えるでしょう。しかし、常温での磁気特性測定、希少な生物学サンプルのFe濃度測定といった一般的なニーズもあるはずで

最も多い使用例はバイオ用途向け免疫磁気ビーズのFe濃度検出です。免疫磁気ビーズは、広くバイオ・メディカル研究に利用されています。例えば、MRI、ドラッグデリバリー、ハイパーサーミア(温熱療法)、免疫アッセイ、細胞選別、抗体/タンパク質/ペプチド核酸等の精製 等です。

免疫磁気ビーズを使用する場合、研究者は粒子量をコントロールすべく、全体粒子量を測定する必要があります。粒子量はFe濃度によって定量化されます。バイオ用途においては室温での磁気ビーズのFe濃度を定量化が一般的です。しかしながら、VSM・ICP・SQUIDといった高機能機材での測定は膨大なコストと費用が必要です。



MagQu社はこれら材料の『Fe濃度検出』用途に交流(ac)磁化率測定装置“XacQuan”を提供します。検出された信号は免疫磁気ビーズのFe濃度に直線的に比例します。わずか10分以内にFe濃度の測定が可能です。サンプル必要量も僅か100 ulで、最低検出限界は、10 ug Fe、即ち0.1 mg-Fe/mlです。

- ・ 磁気ビーズ等、Fe濃度測定が可能
- ・ 僅か10分以内の高速測定
- ・ サンプル必要量： 100ul
- ・ 最低検出限界： 0.1 mg-Fe/ml



株式会社和貴研究所 ナノサイエンス事業部
カブシキガイシャ ワキケンキュウシヨ

〒270-0021
千葉県松戸市小金原7-10-25
TEL:047-309-8312
URL:<http://waki-bg.jp/>